

令和4年度 板橋区立志村第二中学校 授業改善推進プラン

教科名

美術

	学力調査・体力調査・定期考査等の分析	指導方法の課題	授業革新に向けての具体的な手立て
7 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や鑑賞の授業の「思考・判断・表現」に関する問いでは、文章で答える形式になると記入できなくなる生徒がいる。</li> <li>・授業で実施した振り返りシートの集計では「制作時間の不足」と「鑑賞した作品への理解不足」に関する反省が目立った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の授業やポートフォリオ（授業の記録）では文章を記述する機会があるが、作品制作では自分の思いを言葉で表現させていない。</li> <li>・生徒に作品完成までの流れが伝わっておらず、全体の見通しが持てない。</li> <li>・鑑賞した作品について振り返ったり復習をする機会を設けていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作の際に、表現の根底にある思いや願いなどを言葉で記入させる。</li> <li>・アイデアスケッチから完成までの具体的な時数を示し、制作手順は動画で見ることができるようにする。</li> <li>・鑑賞した作品を家庭でも見直したり学習できるようにミライシードやGoogleクラスルームで教材を配信する。</li> </ul>
8 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や鑑賞の授業の「思考・判断・表現」に関する問いでは、文章で答える形式になると記入できなくなる生徒がいる。</li> <li>・作品制作においては、自らの経験から発想を深めることや、色彩や形の効果を考えながら発想を広げることが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の授業やポートフォリオ（授業の記録）では文章を記述する機会があるが、作品制作では自分の思いを言葉で表現させていない。</li> <li>・鑑賞した作品について振り返ったり復習をする機会を設けていない。</li> <li>・造形的な要素について、作品でどのような効果があるか具体的に示していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品制作の際に、表現の根底にある思いや願いなどを言葉で記入させる。</li> <li>・鑑賞した作品を家庭でも見直したり学習できるようにミライシードやGoogleクラスルームで教材を配信する。</li> <li>・色彩や形が作品とどのような関係があるのか具体例を示す。</li> </ul>
9 学 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの学級も真面目に取り組んでいる。作品制作において自らの経験から発想を深めることが苦手である。</li> <li>・定期考査は選択問題を多くしたが、50点以下の生徒もいるため学習内容の定着が課題である。</li> <li>・鑑賞やポートフォリオ（授業の記録）では、自らの課題と具体的な解決策を文章で記述することが苦手な生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感動体験や発想の基となる具体的な知識や経験をさせる機会が少ない。</li> <li>・学習内容を見直したり、反復学習できるようなものがないため、家庭学習の方法が分かりづらい。</li> <li>・鑑賞の授業やポートフォリオ（授業の記録）では文章を記述する機会があるが、作品制作では自分の思いを言葉で表現させていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の際になるべく実物に触れる機会を設けるなど、体験的な学習ができるようにする。</li> <li>・ミライシードやGoogleクラスルームで授業に関する資料や復習問題を配信することで、授業の復習や振り返りをできるようにする。</li> <li>・作品制作の際に、表現の根底にある思いや願いなどを言葉で記入させる。</li> </ul>